



## 2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社スマサポ 上場取引所 東  
 コード番号 9342 URL http://www.sumasapo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小田 慎三  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画本部長 (氏名) 藤井 裕介 (TEL) 050(1741)1119  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第3四半期の業績 (2022年10月1日~2023年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	1,503	△4.3	△74	—	△86	—	△97	—
2022年9月期第3四半期	1,570	—	41	—	41	—	37	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年9月期第3四半期	△41.86		—					
2022年9月期第3四半期	17.15		—					

- (注) 1. 当社は、2021年9月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。  
 2. 2022年第3四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式数は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。2023年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	613	385	62.8
2022年9月期	563	340	60.5

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 385百万円 2022年9月期 340百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年9月期の業績予想 (2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,932	△5.3	△154	—	△165	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年9月期3Q	2,405,200株	2022年9月期	2,211,700株
2023年9月期3Q	一株	2022年9月期	一株
2023年9月期3Q	2,337,018株	2022年9月期3Q	2,186,041株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は、2022年7月2日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。期中平均株式数は前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業務等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の法律上の分類が第2類から第5類へ引き下げられる等、各種規制の緩和により、消費活動は個人消費やインバウンド需要を中心に回復の動きがみられました。その一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、米国金融機関の破綻、資源価格や原材料価格の高騰によるインフレ圧力等国内景気の先行きや企業収益に与える影響については依然として不透明な状況が続いております。

当社が主にサービスを提供する賃貸不動産管理業界におきましては、賃料も安定的に推移しており、また、既存物件の入居率も入居者のライフスタイルの多様化やテレワークの定着等により、引き続き堅調に推移すると見込んでおります。

このような状況の下、当社の主力サービスである「スマサポサンキューコール」及び入居者アプリ「totono」の需要は高く推移しており、受注拡大に向け注力いたしました。その結果、入居者アプリ「totono」の契約社数は堅調に推移いたしました。また、「スマサポサンキューコール」における大東建託パートナーズ株式会社へのサービス開始時期が、システム改修に時間を要していることから遅れております。なお、既に受注は完了しており今期中にはサービスを開始できる見込みとなっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,503,530千円（前期比4.3%減）、営業損失は74,045千円（前年同四半期は営業利益41,712千円）、経常損失は86,399千円（前年同四半期は経常利益41,731千円）、四半期純損失は97,824千円（前年同四半期は四半期純利益37,481千円）となりました。

なお、当社は不動産管理会社向けソリューション提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ49,855千円増加し、613,215千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ22,862千円増加し、419,122千円となりました。これは主に、現金及び預金が46,409千円、売掛金が13,953千円減少した一方で、商品が12,495千円、その他が72,454千円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べ26,993千円増加し、194,092千円となりました。これは主に、有形固定資産が7,595千円、ソフトウェアが12,216千円、その他の無形固定資産が4,138千円増加したこと等によります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ5,263千円増加し、228,036千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ5,689千円増加し、222,450千円となりました。これは主に、未払法人税等が14,640千円、その他が18,538千円減少した一方で、買掛金が13,708千円、契約負債が10,759千円、賞与引当金が14,401千円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ425千円減少し、5,586千円となりました。これは主に、保証履行引当金が225千円減少したこと等によります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ44,591千円増加し、385,178千円となりました。これは、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資等の実施により資本金及び資本剰余金がそれぞれ71,208千円増加したこと、四半期純損失の計上により、利益剰余金が97,824千円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月9日に通期業績予想の修正を行いました。詳細につきましては、同日公表の「通期業績予想の下方修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、当期純利益及び1株当たり当期純利益につきましては現時点では未定であり、確定した時点で改めて公表いたします。

なお、当該業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	303,405	256,996
売掛金	64,351	50,398
商品	4,888	17,384
その他	26,949	99,403
貸倒引当金	△3,335	△5,059
流動資産合計	396,260	419,122
固定資産		
有形固定資産	9,341	16,937
無形固定資産		
ソフトウェア	103,150	115,366
その他	21,172	25,310
無形固定資産合計	124,322	140,676
投資その他の資産	33,435	36,478
固定資産合計	167,099	194,092
資産合計	563,359	613,215
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	40,867	54,576
未払法人税等	19,035	4,394
契約負債	62,210	72,969
賞与引当金	20,976	35,377
その他	73,671	55,132
流動負債合計	216,760	222,450
固定負債		
保証履行引当金	3,904	3,679
資産除去債務	1,700	1,700
その他	407	207
固定負債合計	6,012	5,586
負債合計	222,773	228,036
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	142,499	213,707
資本剰余金	132,499	203,707
利益剰余金	65,586	△32,237
株主資本合計	340,586	385,178
純資産合計	340,586	385,178
負債純資産合計	563,359	613,215

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)
売上高	1,570,456	1,503,530
売上原価	1,013,030	1,031,560
売上総利益	557,425	471,970
販売費及び一般管理費	515,712	546,015
営業利益又は営業損失(△)	41,712	△74,045
営業外収益		
受取手数料	—	170
還付加算金	50	—
補助金収入	—	500
償却債権取立益	100	80
その他	36	37
営業外収益合計	187	788
営業外費用		
支払利息	165	18
上場関連費用	—	13,123
その他	3	1
営業外費用合計	168	13,143
経常利益又は経常損失(△)	41,731	△86,399
特別損失		
固定資産除却損	80	—
特別損失合計	80	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	41,650	△86,399
法人税等	4,169	11,424
四半期純利益又は四半期純損失(△)	37,481	△97,824

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月29日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。

この上場にあたり、2022年12月28日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行150,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ55,200千円増加しております。さらに、2023年1月30日に有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による払込を受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ16,008千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が213,707千円、資本剰余金が203,707千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。